



私たちは、技能に優れた鉄筋工事企業集団として、社会に貢献します。

POWER

Vol.
59

季刊誌POWER 発行所：公益社団法人 全国鉄筋工事業協会 〒101-0046 千代田区神田多町2丁目9番6号田中ビル4階
TEL 03-5577-5959 FAX 03-3252-9170 (平成30年7月20日発行)

SUMMER 2018



公益社団法人

全国鉄筋工事業協会

制作者インタビュー

取り回しやすさを考え、シンボルマークとセットで使用するロゴタイプも制作しました。

シンボルマークは「支える人」をモチーフにしました。上方の長方形は「鉄筋」を、円形と流線型は「鉄筋業に従事する人」を表現しています。カラーは清潔感、信頼感を表現するためにブルー系にしています。

ロゴタイプは、力強さや安定感を見た人に感じてもらうためにすべての文字を直線で表現しています。文字の横線は下にいくほど太くして「しっかりとした土台」を表現しました。そして、正式名称である「全国鉄筋工事業協会」と略称の「全鉄筋」の2種類とも制作しました。この2種類で文字の表情を変えています。「全国鉄筋工事業協会」は文字が多いので全体的にスッキリと見えるように線と線の間に十分な空間を与えています。「全鉄筋」は文字が少ないため一つの塊としてインパクトを与えるために文字を全体的に太くしています。

全鉄筋ロゴデザイン

全鉄筋は創立53年を迎え、会員企業の社員の皆様、またそのご家族の皆様を対象に、当協会のロゴマークを公募致しました。

多数のご応募頂いた作品の中から、厳正なる選考の結果、関西鉄筋工業協同組合、株式会社タソト工業、田外 勝哉 (タソト カツヤ) 様の作品が選ばれました。



株式会社タソト工業 田外 勝哉 (タソト カツヤ) 様

この度は最優秀賞に選んでいただき誠にありがとうございます。

今回のロゴデザインですが、まずは鉄筋工事業は建物の「骨」をつくるお仕事だと思いましたが、最初は「骨」にスポットライトを当ててデザインを始めました。しかしデザインアイデアを出すにつれて、真にスポットライトを当てるのは「骨」ではなくそれを作っている「人」なのではないのかと思い、制作の方向性をガラリと変えて、今回のロゴのテーマ「支える人」に辿り着き制作しました。

これから多様な場所で使われるロゴを制作できたというのは、私にとっては非常に嬉しく、またこの経験を活かして自らの活動をさらに精力的なものにしていけたらと思います。



全鉄筋

組合紹介

宮城県鉄筋工事業協同組合

みなさん、こんにちは。宮城県鉄筋工事業協同組合です。当組合は我々の祖父や父親が親睦団体として作った組合だと聞いております。昭和三十七年に十八社で設立され今年で五十六年になります。経済の激変もあり当時から残っている会社は4社にすぎません。かつて県内の鉄筋業者をまとめるべく、組合員を増やそうとした時期もありました。人数が増えると、意見が多岐に渡りまとまらなくなるのが、集団の常です。不満な組合員は自然に退会し、あとには協力的な組合員だけが残る形になりました。組合員は現在十九社ですが、難しい問題にも組合員が一致協力して対処出来るので、組合員活動がスムーズに運営しております。現役員は二十五年前に当組合の青年部として、親交を深めた仲なので、とてもやりやすい環境です。

組合活動としては、各月の月例会、温泉泊まりの忘年会、新年会、通常総会、納涼会など、情報交換と親睦の場を多数設けております。建団連や建専連などの関係団体と力を合わせ、国県市やゼネコンへの陳情や意見交換会などを行っております。イベントを通じて毎年職長の表彰もしております。また建築構造技術者協会とは平成十四年からの付き合いで、勉強会や交流会も活発に行われ、数年前には共通仕様書(東北版)と一緒に作成いたしました。教育面も重視し、鉄筋技能士の各種講習会を開催し、若い技能士の育成にも努めています。

このたび理事長が全鉄筋の常任理事となり、今まで以上に鉄筋業界に尽力したいと思っています。

第7回(通期第33回)社員総会開催報告

平成30年6月8日(金)「TKPガーデンシティ品川」

A. 平成30年度功労者表彰

(公社)全国鉄筋工事業協会 会長賞

田中 恵悦 (株)中鉄筋社長

青森県鉄筋業協同組合 監事

三浦 秀明 (有)三浦圧鉄工業社長

岩手県鉄筋業協会 副会長

渡邊 力 渡辺鉄筋工業(株)会長

福島県鉄筋業協同組合 理事

扇原 優一 アイム工業(株)社長

富山県鉄筋工事業協同組合 理事長

奥山 啓一 (株)オクト社長

石川県鉄筋業協同組合(前) 常務理事

(敬称略)

B. 議案

「平成29年度事業報告、並びに会計決算報告」、「理事の改選(臨時)」、「役員報酬等規程」、「平成30年度事業計画、および収支予算書」が社員総会において承認されました。

C. 講演

国土交通省 土地・建設産業局 建設市場整備課

労働資材対策室長

矢吹 周平 様



一般財団法人 建設業振興基金
建設キャリアアップシステム
事業推進センター副長
田尻 直人 様

加盟組合空白県の加入促進に注力

全鉄筋

12月1日の就任以来、鉄筋工事業界を巡る施策が「ものすごいスピードで動いている」と指摘。社会保険の加入原資となる法定福利費の別枠計上を含め、業界の主張に理解を求めていく上でも組織力の強化が必要だとし、「空白県の鉄筋工事業界ともひざを付け合わせた議論で加入に導いていきたい」と訴えた。写真：事業計画では、17年度に開催した第2回全国鉄筋技術大会に続く第3回大会を19年度に計画するため、実行委員会の編成と準備に着手することとした。その他各種会議の開催予定なども計画に盛り込んだ。業界が抱える問題の一つである人材確保に関する解決策において法的な審査を行うため、顧問弁護士契約を交わすことが7月の理事会で承認されたことも報告した。委員会活動では、経営委員会(株)森義晴委員長の下に女性活躍推進ワーキンググループ(宮本ゆり子リーダー)を立ち上げ、活動する。



国土交通大臣表彰 平成30年7月10日 (建設事業関係功労)



ご退任理事

- 館岡 正一 矢島鉄筋工業(株) 代表取締役会長 東鉄協
- 秦 興司 東陽建設工機(株) 代表取締役 外部理事
- 戸田 裕雄 (株)戸田鉄筋 代表取締役 関西
- 田中 安治 旧 岡部インダストリー(株) 代表取締役 外部理事
- 池谷 侑治 (株)扶桑工業 代表取締役 静岡県 (敬称略)

業界発展に全鉄筋の理事として、長きにわたる多大なご貢献に感謝いたします。お疲れ様でございました。



熊谷 誠一
丸正誠伸興業(株) 代表取締役
北海道



小寺 洋志裕
(株)コデラ 代表取締役
石川県



知念 辰昇
南武(株) 代表取締役会長
鉄工協

敬称略

公益社団法人 全国鉄筋工事業協会 役員 (平成30年6月8日理事会決議)

役職	氏名	団体名	地方名	会社名	役職	氏名	団体名	地方名	会社名
1 会長	岩田正吾	関西	近畿	正栄工業(株)	13 理事	菅井文明	会員外		(職)全国建設産業教育訓練協会
2 副会長	篠森義晴	福岡	九州	(株)清進工業	14 理事	大平時彦	茨城	関東	(株)大平組
3 副会長	知念辰昇	鉄工協	関東	南武(株)	15 理事	近喜男	新潟	北陸	近鉄筋工業(株)
4 副会長	武田美治	香川	四国	武田建設(株)	16 理事	池田慎二	千葉	関東	(株)ダイニッセイ
5 専務理事	飯島勉	愛知	中部	飯島鉄筋工業(株)	17 理事	平山勲	福島	東北	(株)平山鉄筋
6 常務理事	小寺洋志裕	石川	北陸	(株)コデラ	18 理事	蟹澤宏剛	会員外		芝浦工業大学工学部建築工学科
7 常任理事	熊谷誠一	北海道	北海道	丸正誠伸興業(株)	19 理事	宮村博良	福岡	九州	(株)宮村鉄筋工業
8 常任理事	宮本ゆり子	山口	中国	宮本工業(株)	20 理事	國井均	静岡	中部	(株)芳和建設工業
9 常任理事	岑直樹	宮城	東北	松永鉄筋工業(株)	21 理事	中川六雄	関西	近畿	(株)中鉄
10 常任理事	新妻尚祐	東鉄協	関東	新妻鋼業(株)	22 理事	松本浩樹	会員外		東陽建設工機(株)
11 理事	町田十九一	長崎	九州	(株)町田工業	23 監事	吉岡通伸	愛媛	四国	(有)吉岡鋼業
12 理事	道用光春	会員外		(一社)建設産業専門団体連合会	24 監事	小田桐健	神奈川	関東	(株)スチール・ワン

会員団体が独自の技能大会を開催

東京都鉄筋業協同組合

今年度の東鉄協鉄筋技能大会は5月13日、城東職業能力開発センターで開催された。

前2回は平成27年、29年に行われたが、いずれも全鉄筋主催のTETSU-Iグランプリの予選会との位置付けであった。今回は当組合独自開催ということもあり、45歳以下という年齢枠を撤廃、予めから希望のあった46歳以上のシニア4名を加え17名が参加、会社同僚やご家族の応援団の見守る中で競技が展開された。

その結果、秋山俊貴氏(矢島鉄筋工業)が優勝、2位には塗木辰弥氏(永和産業)、3位に高坂淳也氏(新妻鋼業)、そしてシニア部門の特別賞に天野弘勝氏(石澤工業)が入った。

新妻理事長は「回を重ねるごとにレベルが向上している。今後も技能大会を継続し、技能向上が現場に生かされるようになる大会としたい。」との思いを語ったが、毎年5月の連休明けの日曜日に開催し、通常総会後の懇親会で表彰式を行うことを組合の年間行事に組み込み、若手技能者の励みとなる大会に成長させたいと考えております。



東京鉄筋工事業協会

(協)東京鉄筋工業協会は平成30年6月10日に第4回目となる鉄筋技能大会を開催しました。

今年度は、鉄工協独自の新たな取り組みとして建築・土木・実習生の3部門にわけ、建築・土木は施工性が違う為、協議の結果あえて2部門とし1級組立課題を作業時間1時間20分を打ち切りとした。

外国人実習生部門は技能実習終了時の必須項目になった随時3級の組立課題を作業時間1時間(延長あり)とし、各部門にて技術を競い合った。

とりわけ、外国人実習生部門の実習生の競技に取り組む姿勢には目を見張るものがあった。

また、平均作業時間が35分40秒と1時間の作業時間に対して大幅に短縮していることからそのことが窺える。

第一回TETSU-1の予選を兼ねたときから始めた技能大会も今回で4回目となり毎年開催しており、回を重ねるごとに技術の向上が見受けられ、今回は年齢制限を外した為、まだ1級技能士を取得していない若い世代が自分の技術を試したいと数名参加していました。

これからも鉄工協は技能・技術集団として、後進の指導・技術の向上の一環として技能大会を継続していきます。



各地区広報活動報告

新潟県鉄筋業協同組合

新潟県鉄筋業協同組合では青年部活動として新潟県内高校への《出前講座や県立高校メッセ出展》など積極的に活動しています。

出前講座は普通科高校では鉄筋結束体験を中心にしていますが商業高校などで土木専攻を行っている学校では3級鉄筋施工試験モデルの組立指導なども行っています。

必ず実技指導の前には座学を行いコンクリートの中で鉄筋が果たす役割や構造物における鉄筋工事の重要性、日本の安心、安全を守る仕事なのだと生徒に話しをしています。



県立高校メッセでは、中学生や高校生そして親御さんにも結束体験をしていただいています。

鉄筋工事は重要性が高い割には知名度の低い職種ですが《出前講座や県立高校メッセ》等を活用して鉄筋工事の重要性を広報しその結果、担い手確保につなげていけるようにこれからも積極的に活動していきます。

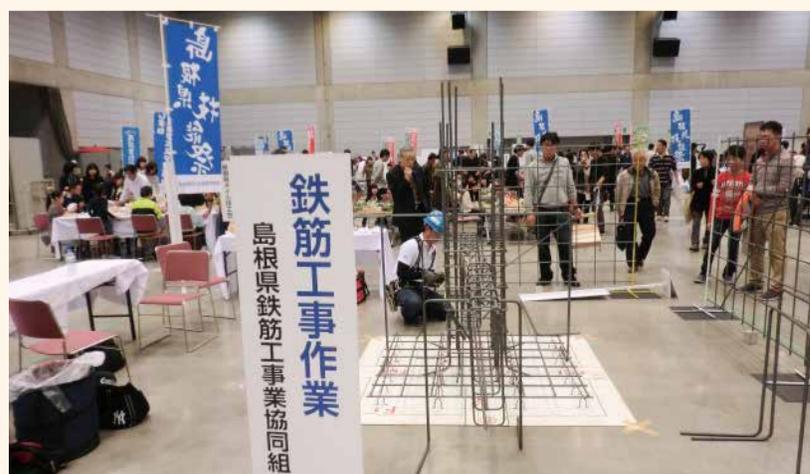


島根県鉄筋工事業協同組合

当組合は、島根県職業能力開発協会等が主催する「しまね技能フェスティバル」に8年連続して参加しています。しまね技能フェスティバルは、社会における技能尊重気運の醸成と、後継技能者の定着を図り、島根県の産業振興に寄与することを目的に毎年開催されているもので、県内の名工、伝統技能、鉄筋、造園、建築板金等の専門技能者の実演等が行われる一年に一回のイベントです。当組合では、組合設立の年から、毎年◎若手鉄筋工による、鉄筋組立て実演と◎「体験してみよう鉄筋結束コーナー」を設けています。

昨年は、10月29日(日)に島根県松江市のコンベンション施設で開催されました。来場者は、約3,000人。体験コーナーでは、子ども連れの親子等50人程が、楽しそうにハッカーで結束する光景が見られました。

また、若手鉄筋工の実演では、普段見ることのない鉄筋工による手際のよい技能に、感心して見入っている来場者もあり、鉄筋工の魅力を大いに発信出来たものと自負しています。



トピックス

7月5日(木)今年度から経営委員会内に新しく設置した「女性活躍推進WG」の第1回会議が開催され、宮本ゆり子GLをはじめ、平成30年度の活動内容について活発な意見交換が成されました。ご意見、ご提案をいつでも事務局までお寄せ下さい...

7月6日(金)建設労働者確保育成事業推進事務局会議(全国会議)が開催されました。

会議では社員総会で決議された「平成29年度事業報告と平成30年度事業計画」をお知らせしたほか、各組合のご要望を取り入れる良い機会となりました。全鉄筋の活動は、各組合事務局ご担当者のご協力がなければ成り立たないことを共有し、意義ある会議になりました。

秋季定例会は平成30年10月26日 ANAクラウンプラザホテル金沢にて開催、青年部全国連絡会議は平成30年11月9日リーガロイヤルホテル大阪にて開催いたします。皆様にはご予定のほどよろしくお願いたします。

6月8日(金)に開催した社員総会のご講演、「建設キャリアアップシステム」について...

全鉄筋はこれまで国土交通省の施策に理解を示し、「社会保険加入」を強く推し進めて参りました。そして今年から社会保険に未加入の企業は建設業許可の更新ができなくなりました。次に国が打ち出した施策は「建設業働き方改革」です。社会保険問題も時間を要したように、すぐに成し得る簡単な問題ではありませんが、全鉄筋はこれまで通り専門工事業界を牽引するつもりで覚悟を以て、国土交通省へ意見を述べながら協力していく所存です。なかでも建設業振興基金が主管する「建設キャリアアップシステム」は、技能者のキャリアに応じた処遇改善を目指す取り組みの一つですが、更には専門工事各企業の評価に繋げる目標があります。受注機会確保のためにも後れを取ることがないよう、全鉄筋は早々に「第三者委員会」を設置し対応して参ります。 [ご講演資料の抜粋]

建設業働き方改革加速化プログラム (平成30年3月20日発表) 国土交通省. 日本全体の生産年齢人口が減少する中、建設業の担い手については概ね10年後に団塊世代の大層離職が見込まれており、その特種可能性が危ぶまれる状況... 長時間労働の是正, 給与・社会保険, 生産性向上

建設キャリアアップシステムの構築 国土交通省. 「建設キャリアアップシステム」は、技能者の資格、社会保険加入状況、現場の就業履歴等を業界横断的に登録・蓄積する仕組み... ①技能者情報等の登録, ②カードの交付・現場での読取, ③システムによる就業履歴の蓄積

平成30年3月20日に発表された「建設業働き方改革加速化プログラム」の内容です。「給与・社会保険」の枠内に、●システムが今秋に稼働すること ●技能・経験にふさわしい処遇を実現すること ●高い技能をもつ技能者を雇用する企業が評価されることなどが記されています。

「建設キャリアアップシステム」の概要が記されています。事業者登録と技能者登録の両方が必要です。

建設キャリアアップシステムを活用した技能者の処遇改善に向けた取組 国土交通省. 建設キャリアアップシステムの導入で確認が可能となる、技能者の保有資格及び就業履歴のデータを活用し、個々の技能者の知識や技能と組み合わせ「能力評価基準」を策定する... 技能者の能力評価の対象, 専門工事企業の施工能力等の見える化のイメージ

就任挨拶 広報委員会委員長 知念 辰昇. 自己紹介をさせて頂き、昨年12月1日より副会長、今年度より広報委員長の大役を仰せつかっております、鉄工協相談役の知念でございます。さて、全鉄筋の方向性を担うのは会長の股肱の臣一経営委員会、各委員会はその目標を達成するための実働部隊だと考えます。そして、広報委員会は全鉄筋の方向性、現況等を会員皆様に発信するのが役目で、これまで以上にPOWERをより充実した内容で発信したいと思っております。そのためには、一案としまして、各地・各県で起きた「おもしろい出来事、笑える話、目出度いこと、厳

技能者の能力評価レベルと、雇用する企業の評価の概要です。●登録基幹技能者はレベル4が付与されること ●技能者の能力評価と企業評価は連動することなどが記されています。

- 編集委員 委員長 知念 辰昇 (鉄工協) 副委員長 宮本ゆり子 (山) 田浦 工藤 裕子 (北海道) 兼澤 真一 (神奈川) 仲至 (関西) 兼澤 伸至 (島)

編集後記 海開きの便りが聞かれる頃になりました。皆様はいかがお過ごしでしょうか さて、「社会保険100%加入」に始まり「働き方改革」「キャリアアップシステム」と近年、矢継ぎ早に建設業界は変貌を遂げようとしています。どれも職人の地位向上や新規入職者の問題を背景に国民一体となって取り組むべき課題です。しかしながら筆者は、こうも思うのです。 「社会保険100%加入していない...」 もっと言えば基幹技能者も民間の現場では、大して必要とされていません。ゼネコンも「あれば書類に入れて」程度なのです。大変な労力を注いで、中身が伴わなければ意味がありません。今一度、これらを骨太にする努力をした方が良いのでは、と思っております。 職人や新規入職を考えている学生は、そこを見ている様に思えてならないのです。 広島鉄筋組合 兼澤 伸至